

- (妹尾教育長) 資料により説明。
ご意見をいただきたい。まずは、高等学校についてはどうか。
- (野田委員) 休校でよいと思う。
- (妹尾教育長) 県教委に準じて4月20日から休校とすることでよいか。
- (各委員) よい。
- (妹尾教育長) 小中学校についてはどうか。
- (野田委員) 給食後の下校による午前中の学校運営とあるが、午前中だけというのには意味があるのか。
- (学校教育課長) 接触する時間をできるだけ少なくするという趣旨がある。長期休業となる中、3学期の学習内容の部分を含めて課題をどう出すかということがあり、教員の準備期間という考えもある。
- (野田委員) 4月25日から5月10日までは、市として感染防止期間というのには決まっているのか。
- (妹尾教育長) 仮にこういう期間を設定できるのではないかという提案の方を市長に伝えている。アイデアとしてはいいと思うので検討してみるとのことである。
- (妹尾委員) どれを選択するかは置いておいて、市として感染防止期間を設定して自粛するという考え方はいいと思う。取り入れてほしい。
- (加藤委員) 徹底した外出自粛とはどういったものか。
玉野のような町の形態であれば、季節的にも親子で自然散策もあるのではないか。徹底的な外出自粛がどの程度なのか。
- (学校教育課長) いわゆる3密を避けるということになると思う。
思いのほか、県外に出ている人がいる。学校がいくら休校しても、家庭でやむを得ない場合は仕方ないにしても、遠出や感染拡大地域に行ってしまうような油断している人もいる。不要不急な外出はしないということである。
- (加藤委員) そういう意味での外出自粛というのであれば理解できる。
- (妹尾教育長) 不要な外出という言葉にしたほうがよいかもわからない。
- (妹尾教育長) 今週は通常どおりである。20日から24日までの週についてはどうか。
- (野田委員) 授業のこともあるし、出来ればずっと通常どおりの方がよい。
- (太宰委員) 色々なリスクはあると思うが通常どおりでよいのではないか。
今の玉野市の状況を考えると、接触を少なくするなど色々な対策をしてくれているので、出来るだけやったほうがいいのではないか。
- (妹尾委員) 午前中だけ行くのであれば同じことだから、それであれば午前中と午後と学年を分けて登校するなどすればまだリスクが少なくなるのではないかと感じる。今すごく危機的な状況にあるの

はあると思う。接触はなるべく避けた方がよい。ゴールデンウィークに飛び飛びで学校に行かせるのであれば、休ませた方がよいと思ったり、県のやり方沿って休校にするには即してないし、その理由であれば休校にしたままの方がよかったと思うし、はっきり回答が出せない。

(加藤委員) 新学期が始まって子どもが学校に行けることをとても喜んでい
る。特に新学期で学年が変わったところである。玉野では感染
が広がっていないこともあるので、学校を続けるのは賛成であ
る。いつから休みにするかということを考えたら、29日から
でもいいのではないかと思う。土日休んで月曜日に行くという
体づくりが4月のうちにできた方がよい。長期の休みにするの
であれば、ゴールデンウィークの過ごし方などを学校でもしっ
かり教えてほしい。

(妹尾教育長) 24日まではやるというのは共通の考えかと思う。

(妹尾教育長) 市の感染防止期間というのをどのような形にするのかというこ
とも今の段階では決まっていないが、この期間については休校
になる可能性もあるということ、24日までは午前中ではなく
通常どおりということによいか。

(妹尾委員) 全学年登校するのであれば同じである。

(学校教育課長) 分散登校で問題なのは給食である。

(太宰委員) 授業を出来る時にはやったほうがよいと思う。

(学校教育課長) 私も今の状況で言えば継続していく方がよいと考えている。高
校については休校する意味があると思うが、小中学校について
は休校にする理由がない。小中学校については継続して行って、
市長がどう判断するかわからないが、この感染防止期間で徹底
的に防止して、感染者が今の時点でいたとしても、この期間で
一旦状況を把握できる。学校の協力を得てアピールしてしっか
り親に伝えていけば、親の意識も変わるのではないかと思って、
案の一つとして出した。

(加藤委員) 感染防止期間が長いとだれてしまう。どこか行こうかというこ
とや、DVなども出てしまうかもしれない。16日はちょっと
長い。

(妹尾委員) それで言うと、祝日土日は感染防止の期間として、外出自粛を
要請するというのはどうか。

(太宰委員) カレンダーどおりでやって、お休みの日は外出自粛しまし
ょうということでもメリハリをつけたらよい。いつどこで感染者が
出て、休校にするということになるかわからないので、出来る
ときにはやっていくほうがよい。

(学校教育課) 周りの状況を見ながら、玉野市としては、変化があるまでは通

常どおりやっ行って行こうということで、我々も頑張っていきたい。

- (野田委員) 絶対教員から感染者が出て休校になるということのないようによく言って欲しい。
- (学校教育課長) 校長会や教頭会でもそのことについては相当強く言っている。感染した場合、感染したことをもってその先生を責めることはないが、行動履歴を調べられるので、疑問を持たれるような行動をしていけば責められるのもあたりまえであるとは伝えている。
- (妹尾教育長) 教育委員会の意見としては、24日までは通常どおりでということで、もし市から連休中に何か要請があったらその間の休校はどうか。
- (野田委員) 最終決定で市長から要請があれば従うが、教育委員会としては通常どおりでよいと考える。
- (妹尾委員) カレンダーどおりに行うということでいいが、自主的に休むという保護者はいると思う。WEB授業を検討した方がよいと思う。先々絶対必要になってくる。
- (学校教育課長) まさにその準備ということでGIGAスクール構想ということで、一人1台パソコンの整備をやっていく。整備はこれからであるが、令和5年度までに整備するというのを国が今年度中にという通知を出したところである。
- (妹尾委員) 学校の裁量で、やってみようかというのは、認められているのか。
- (学校教育課長) 禁止はしていない。
- (妹尾教育長) その他ということで、今年度のプール指導は中止せざるを得ないということになる。
- (学校教育課長) 健康診断も項目によっては延期になっているので、プールは出来ないと考える。本来であれば5月半ばにはプール掃除をやって水をためるといったことなので間に合わないかと思う。学校教育活動の自粛についても、5月末までというのを定めているが、6月末まで延長する。
- (妹尾委員) プールの時間の代わりは体育授業になるのか。他の教科の振り替えにはならないのか。
- (学校教育課長) プール指導は体育の授業の領域の一つである。プール指導を中止した場合、体育の別の領域の指導内容を行うことになる。
- (妹尾教育長) 20日からの部活動については、どうするか。
- (学校教育課長) 現在は、3密を防ぐ観点で指導内容を考えてできるだけ短時間

(野田委員) で終わらせている。中学校は朝練を中止している。
出来ればやらせてあげたいと思う。
(妹尾教育長) 教育委員会としては、部活動も今までどおり3密を避けながら
行うということで市長等に報告する。

次回、教育委員会は令和2年4月24日（金）15：30から第1委員会室で開催
するので参集願います。以上で、第7回教育委員会を閉会します。

会議録調製者	書記	清山 智保
会議録署名委員	教育長	妹尾 均
〃	教育長職務代理者	妹尾 恵美